

平成30年11月30日

会員各位

協会だよりー312(12月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

2・【トピックス】:

本年最後の協会だよりとなりました。平成30年度に実施した協会行事を整理しました。

- ① 4月末日：触媒資源化協会 2017年実績報告書完成・配布
- ② 5月9日（水）第43期定期総会
- ③ 6月19日（火）触媒工業協会と幹部交流会
- ④ 7月13(金)ー14日（土）第236回月例会（一泊研修会）PPC(株)佐賀製錬所
- ⑤ 9月14日（金）第237回月例会・触媒工業協会との共催講演会
- ⑥ 11月2日（金）第238回月例会 工場見学・造幣局さいたま支局、懇親会
- ⑦ 11月16日（金）第37回研修会・JSCRA会

平成30年度第4四半期の行事

- ① 2018年1月ー12月の実績報告（正規会員対象）
- ② 1月18日（金）第5回運営委員会
- ③ 2月08日（金）第239回月例会・講演会&新年会
- ④ 3月15日（金）第6回運営委員会



- 一. 協会よりのお知らせ
- 二. 「トピックス」
- 三. 「実施済事項」第238回月例会後記
(株)徳力本店 銭谷将夫氏)
- 四. 「予定事項」
第37回研修会・JSCRA開催他
- 五. 事務局より（一二月度の予定）
- 六. 【雑学】新シリーズ（小林尚道氏寄稿）
「絆」で結ぶ三陸海岸訪問（一）

3. [実施済事項]

- ① 協会だより311（11月号）をHPに更新・各会員に通知及び会員OBにメールで送信
- ② HPの更新
 - 協会会員会社の更新
 - 会員専用HPを更新
 - 10月度月例経費報告
 - 第238回月例会・見学会の参加者・懇親会写真
 - 第37回研修会・JSCRA会の報告
- ③ 第238回月例会（造幣局さいたま支局見学）を11月2日に実施

見学会後記(徳力本店 銭谷将夫)

2018年11月2日、14:00より29名の会員参加者と見学会に参加させていただきました。造幣局さいたま支局は2年前に池袋から移転し、記念貨幣（プルーフ）や勲章の製造、貴金属の品位証明などを行っており、各種製造工程と博物館を約1時間半かけて見学致しました。

まず工場の見学では、原料となる金属の溶解から圧延、円形（えんぎょう）への圧穿（あっせん）という貨幣の原形の部分は広島支局が行っており、さいたま支局ではそこから先の工程を行っていました。こちらでの生産は主にプルーフ貨幣と呼ばれる防錆・光沢加工された1円から500円までの硬貨で、通常通貨として使用できないものでした。ケースに収納された観賞用、コレクター向けの貨幣で、輝きも違えばカラー印刷もされており見ていて飽きないものばかりでした。

一方、博物館展示室では日本最古の貨幣である富銭（ふせん）に始まり、時代劇等で馴染みのある江戸時代の大判・小判など貨幣の歴史に始まり、各種勲章（大勲位菊花賞・桐花大綬章・旭日章・瑞宝章・文化勲章・宝冠章）の展示、勲章の順位や過去に叙勲を受けた人物の説明を受けました。国民栄誉賞もありました。オリンピックメダルに関する展示や、各種記念事業のプルーフ貨幣などの展示もございました。尚2020年の東京オリンピックでは金・銀・銅合計5,000個のメダルを製造します。因みに使用される貴金属は、金30KG、銀4,100KG、銅2,700KGです。金が少ないのは銀に金メッキ6G以上との決まりがあるためです。

造幣局は明治4年に明治維新政府により創設されて以来、国の礎となる貨幣の安定生産を担っており、BCP対策として通常は使用しなくても、大阪の本局、広島支局、さいたま支局と3局どこでも貨幣が製造できる設備を有しているなど、約150年の歴史と、重大な責任をもった大変興味深い施設だと思いました。

昭和23年（1948年）から平成29年度（2017年）までの1円・5円・10円・50円・100円・500円の硬貨の合計生産枚数累計は1,236億8千枚でした。尚平成30年度の貨幣（千円・1万円含む）枚数合計は11億1,028万8000枚金額で1,761億900万円とのことです。

最後になりますが、豊富な知識で面白おかしく、かつ丁寧に説明して頂いた造幣局説明員の森様と、毎日手にする身近な貨幣について学ぶ機会を下さった、当協会の皆様に御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

参加者集合写真



- ④ 第37回研修会・JSCRA会 11月16日(金) セゴビアゴルフインチョダ
参加者：10名 優勝：渡辺運営委員長、2位：飯田哲男氏、3位：廣川大介氏
BB賞：下村亮介氏
次回幹事：幹事長：渡辺敏樹氏、幹事：下村亮介氏
集合写真



参加者(敬称略)

前列左から：尾沼・飯田・
安田・角田)
2列目：中尾・渡辺・伊藤
3列目：廣川・下村・浅川

- ⑤ 第4回運営委員会の開催(平成30年最終)

日時：平成30年11月15日(木)

場所：堺化学工業㈱東京支店会議室

出席者：相田化学工業㈱佐藤辰男・堺化学工業㈱渡辺敏樹・クラリアント触媒㈱宮木
義治・DOWA メタルマイン㈱片岡良一・日誠金属㈱菊地昭宏・ヘラウス㈱小林直久
松田産業㈱増井祐二・三菱マテリアル㈱小林幸平

議題：①第239回月例会講演会の講演はヘラウス㈱より中国南京の工場紹介を兼ねて、中国での貴金属など回収ビジネスについて他(詳細別途報告)

②平成31年よりの開催日を奇数月第3週の木曜日→**金曜日**に変更する。よって1月18日、3月15日、5月17日、7月19日、9月20日、11月15日

4. [予定事項]

① 第5回運営委員会の開催

日時：平成31年1月18日（金）16：00－17：00懇親会19：00まで

場所：堺化学工業(株)東京支店 会議室

住所：千代田区岩本町2-3-3 ザイマックス岩本町ビル2階

電話：03-5823-3724

議題：●第239回月例会（講演会・新年会）講演2テーマ者の選定と役割分担

幹事担当会社：

239回月例会（ヘラウス(株)・DOWAメタル(株)・三菱マテリアル(株)松田産業(株)

運営委員担当会社：

239回月例会（日誠金属(株)・相田化学工業(株)

運営委員会会社：

堺化学工業(株)・石福金属興業(株)・クラリアント触媒(株)・横浜金属(株)・安田薬品(株)・ユミコアジャパン(株)

5. 事務局（12月度の出勤予定）

出勤予定●：8日間 ×：年末休み

日	月	火	水	木	金	土
						12/01
12/02	12/03	12/04	12/05	12/06	12/07	12/08
		●		●		
12/09	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15
		●			●	
12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22
	●		●			
12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29
		●		●		
12/30	12/31	1/01	1/02	1/03	1/04	1/05
	×	×	×	×	×	×

(文責：専務理事)

6. 【雑学】「絆」で結ぶ三陸海岸へ（震災から7年三陸応援旅行）（1）

2011年3月11日に発生した東日本大震災より岩手、宮城、福島は、地震と津波による甚大な被害、特に福島県では福島第一原発の原子炉内燃料崩壊による放射能汚染の被害が大きく、未だ一部帰還不可区域があり元住民は故郷を奪われている。

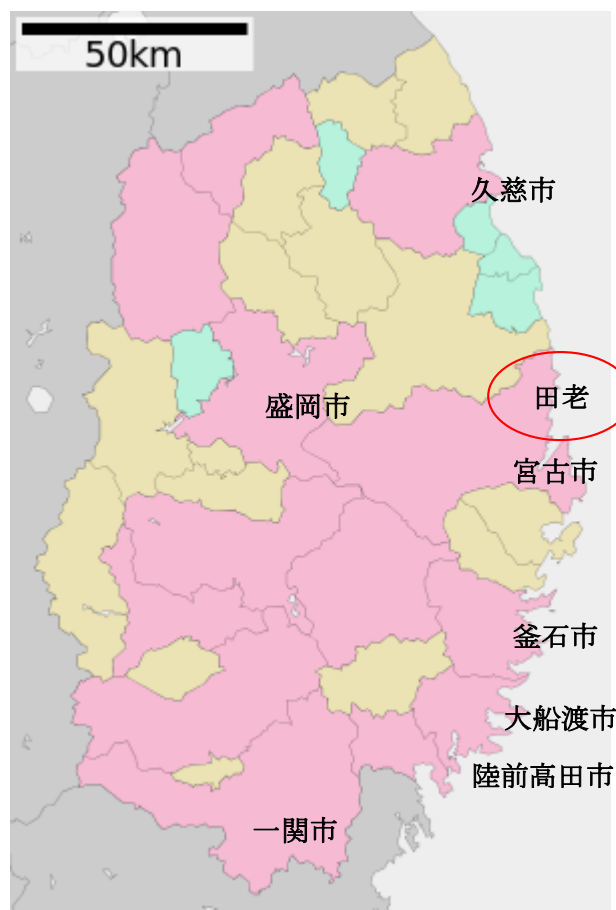
今回、「絆」で結ぶ三陸海岸へ～震災から7年三陸応援旅行～というテーマの二泊三日ツアー（岩手県北部の久慈市から南部の陸前高田市まで）に参加した。三陸とは青森県・岩手県・宮城県に至る旧国名、陸奥・陸中・陸前の三国の総称で、現在、陸奥は青森県、岩手県は陸中と陸前の二国、宮城県は陸前ということになるが、岩手県の場合は三陸といったほうが一般に通りがよいのであろうか？

2013年（東日本大震災の2年後）、国立公園の名称「陸中海岸国立公園」（岩手県）は、津波で被災した青森県八戸市より宮城県仙台市までを追加して「三陸復興国立公園」と改められた。国は復興が完了したときに再度名称を変更検討するとのことである。

岩手県の沿岸地域は、国道45号を北より南へおよそ120km、久慈市（海女の北限地・ドラマあまちゃんのロケ地）・九戸郡野田村・下閉伊郡普代村・田野畑村（北山崎）・岩泉町（龍泉洞）・宮古市（田老防潮堤、山王岩、浄土ヶ浜）・下閉伊郡山田町・上閉伊郡大槌町・釜石市（製鉄発祥の地、2019年ラグビーWC開催地）・大船渡市（碁石海岸）・陸前高田市（奇跡の一本松・高田松原海岸（津波で消失））の市町村が続いている。

岩手県沿岸地域の被害の殆どは15mを超える大津波によるものである。現在、各市町村とも防潮堤の建設はかなり進んでいるようだが、海岸（港を含む）に近い地域の被災した旧住宅地には、住居建築が認められず、野球場や集客施設の建設が進められているが、大部分は、いまだ廃墟のようだ。昭和8年（1933）の大津波から88年後の平成23年（2011）大津波による被害は、今後未来に伝承出来るのであろうか？北海道でも大きな地震の山津波で、多くの方が亡くなった。首都圏に住む我々も大震災には心すべきことだ。

今回の旅は岩手県のみであり、被災地の復興と景勝地の観光をミックスしたものであったが、我々シニアとして復興ボランティアへの参加は無理であっても、現地を旅行（観光中心でも良い）し、美味しいものを食べることが復興へのお手伝いではないかと思う。前置きはさておき、盛岡からはバスの旅となる。午前中は「あさ開酒造」の酒蔵見学、東北自動車道で県北の久慈へ向かう。いよいよ三陸の始まりだ。





盛岡・あさ開酒造のマットと鉄筋三階建ての新設酒蔵

久慈市は何年か前のNHK朝ドラ「あまちゃん」のロケ地であり、名産は琥珀のアクセサリー、人物は三船久蔵十段（柔道）の出身地です。



久慈市、あまちゃんハウスと三船久蔵氏の銅像

貸切り車両で三鉄・久慈駅より普代駅まで、三陸鉄道北リアス線に乗車します。



三陸鉄道久慈駅と北リアス線の貸切り車両（臨時便）

14時半ごろ出発し、海女さんスタイルのガイドさんより説明を受けながら、絶景の場所では徐行や停車をし、40分ほどで普代駅に到着。津波にやられた地区はコンクリートの防潮堤の建設が着々と進められています。普代駅より再度、先回りしていたバスに乗車して名勝・北山崎（田野畑村）に向かいます。

《北山崎》 岩手県下閉伊郡田野畑村北山 129-10

過去には国立公園記念切手の図柄になった名勝の地で、隆起した海岸が、波や風に浸食され奇岩連続の雄大な景色となりました。写真は第一展望台よりのものです。



岩手県の海岸は国道 45 号線がメインですが、鉄道でつなぐと久慈～宮古は三陸鉄道北リアス線、宮古～釜石は JR 山田線、釜石～盛（大船渡市）は三陸鉄道南リアス線、盛～陸前高田は JR 大船渡線と乗り継ぎになります。現在宮古～釜石間の JR 山田線は不通ですが、2019 年 3 月にはこの区間が三陸鉄道に移管され、久慈～宮古～釜石～盛（大船渡市）がリアス線と改称され直通運転されます。盛（大船渡市）から気仙沼間の JR 大船渡線は鉄道が廃止され、線路を撤去し舗装道路として専用使用するバス（BRT（バス・ラピッド・トランジット））の運行となっています。

《龍泉洞》 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字神成 1-1

龍泉洞は日本三大鍾乳洞の一つ、透明度の高い地底湖がある鍾乳洞として知られています。総延長は 5,000m 以上になると考えられています。入口より 700m まで公開され進むことが出来、右の写真は第三地底湖で水深は 98m 有ります。三大鍾乳洞とは、龍泉洞、秋芳洞（山口県美弥市）、龍河洞（高知県香美市）の三ヶ所を言います。



岩泉町は又酪農の町、龍泉洞のレストハウスでは岩泉乳業の濃厚な飲むヨーグルトが人気です。

次号（2）に続く。

（記：小林尚道）